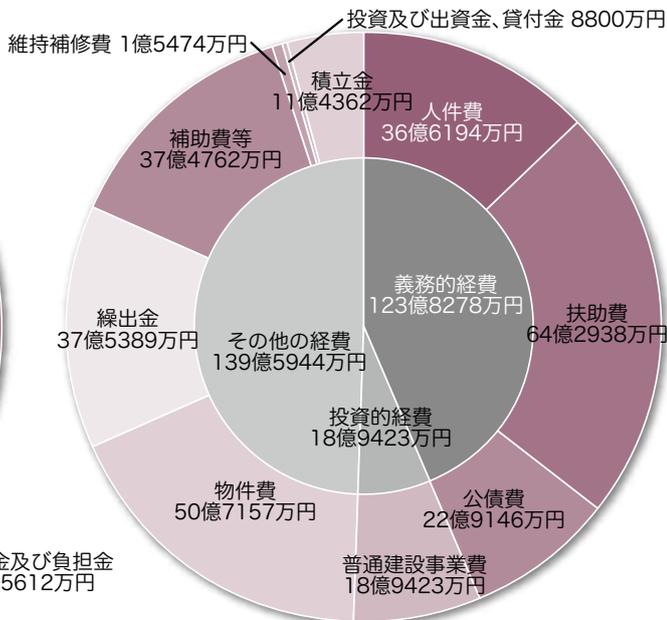
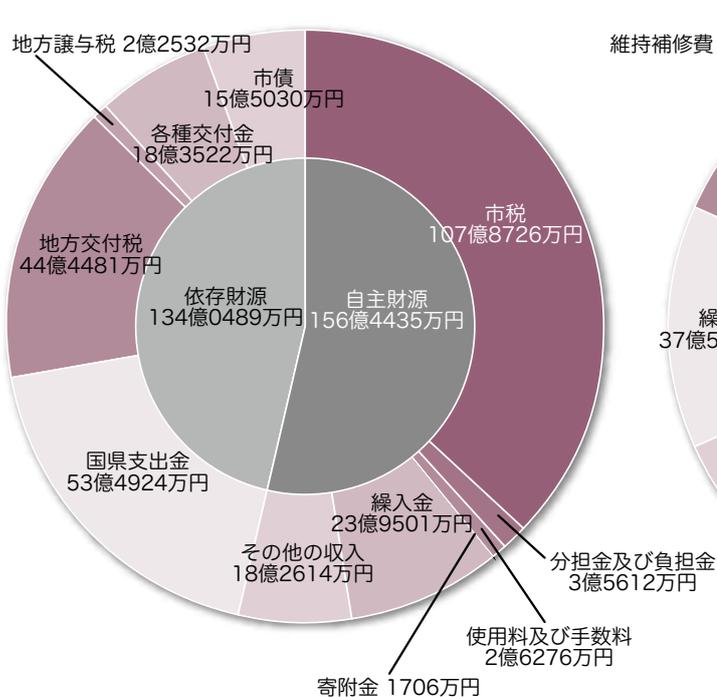


# 決算概要

決算における本市の状況をお知らせします。

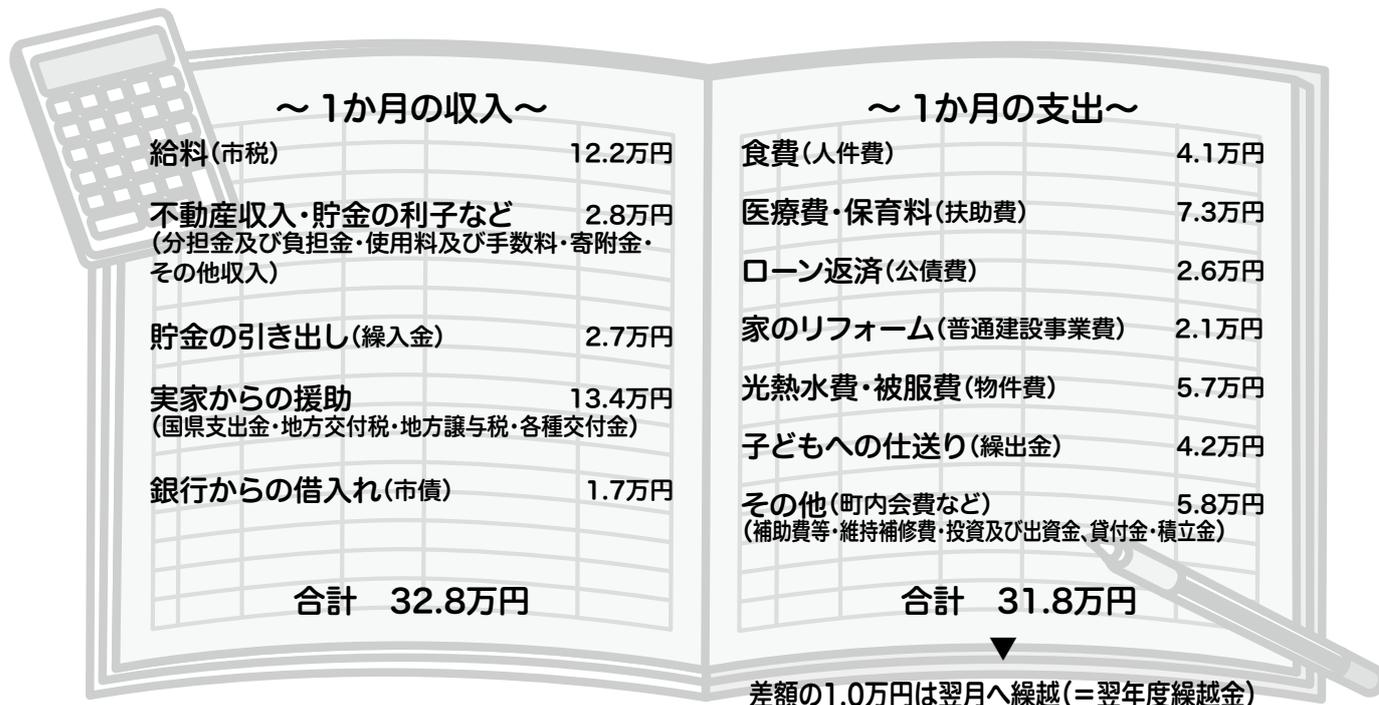
歳入決算額 290億4924万円

歳出決算額 282億3645万円



## 家計簿に例えると…

市の一般会計決算額は、金額が非常に大きいので、各決算額を市の人口で割り、額を縮小して1か月の家計簿に置き換えました。



# 平成29年度

## 9月の市議会定例会において認定された平成29年度

市民一人あたりで計算すると… (歳出目的別) (平成30年3月31日現在人口88,673人)

一般会計決算額を市民一人あたりに計算すると318,433円の市民サービスを行っています。

<b>議会費</b> (議会運営関係事業) <b>2,918円</b> (決算額 2億5878万円)	<b>総務費</b> (市政運営管理費など) <b>30,402円</b> (決算額 26億9580万円)	<b>民生費</b> (子育て支援事業など) <b>100,090円</b> (決算額 88億7525万円)	<b>衛生費</b> (ごみ処理事業など) <b>25,240円</b> (決算額 22億3811万円)
<b>農林水産業費</b> (農業振興推進事業など) <b>5,465円</b> (決算額 4億8456万円)	<b>労働費・商工費</b> (地域産業振興など) <b>3,407円</b> (決算額 3億0215万円)	<b>土木費</b> (道路改良維持管理など) <b>11,980円</b> (決算額 10億6231万円)	<b>消防費</b> (消防防災関係事業など) <b>12,536円</b> (決算額 11億1165万円)
<b>教育費</b> (小中学校維持管理事業など) <b>32,084円</b> (決算額 28億4500万円)	<b>公債費</b> (地方債償還) <b>25,842円</b> (決算額 22億9145万円)	<b>諸支出金</b> (特別会計・公営事業会計繰出など) <b>68,469円</b> (決算額 60億7139万円)	

### 各会計別決算収支の状況

会計名	区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引額	翌年度へ 繰り越すべき財源	実質収支額
一般会計		290億4924万円	282億3645万円	8億1279万円	1億1497万円	6億9782万円
国民健康保険特別会計		107億4177万円	102億6713万円	4億7464万円	0万円	4億7464万円
土地取得特別会計		620万円	620万円	0万円	0万円	0万円
簡易水道事業特別会計		5592万円	5314万円	278万円	0万円	278万円
市営住宅管理事業特別会計		1億0780万円	1億0632万円	148万円	0万円	148万円
介護保険(保険事業勘定)特別会計		57億2433万円	54億7502万円	2億4931万円	0万円	2億4931万円
介護保険(サービス事業勘定)特別会計		3073万円	2035万円	1038万円	0万円	1038万円
公共下水道事業特別会計		18億3524万円	17億9282万円	4242万円	0万円	4242万円
後期高齢者医療特別会計		19億8503万円	19億5004万円	3499万円	0万円	3499万円
合計		495億3626万円	479億0747万円	16億2879万円	1億1497万円	15億1382万円

### 企業会計別決算収支の状況

会計名	区分	収益的收入及び支出		資本的收入及び支出	
		事業収益	事業費用	資本的收入	資本的支出
水道事業会計		8億1093万円	7億5252万円	1億7425万円	3億5526万円
病院事業会計		27億3759万円	29億8290万円	1億7358万円	2億6854万円

# 平成29年度の主な事業を報告します

## 安全が確保され、安心して快適に暮らせるまち

### 七宝庁舎機能の移転(5979万円)

耐震補強工事が行われていない七宝庁舎の機能を、耐震性を有する公共施設に移転しました。

### 空き家等の対策(849万円)

管理不足の空き家が周辺にもたらすさまざまな諸問題に対応していくため、実態調査を実施しました。

### アンダーパスの冠水対策(1836万円)

大雨による道路冠水時の車両進入事故などを未然に防ぐため、新居屋地内のアンダーパスにおいて、冠水警報表示施設の整備を行いました。



アンダーパスに整備した冠水警報表示施設

## 心身ともに健康で、いきいきと暮らせるまち

### がん検診のウェブ受付の実施(43万円)

多くの市民にがん検診を受けていただけるよう、ウェブ予約システムを導入しました。

### 子ども医療費の完全無料化(4億6459万円)

中学生における医療費の無料化範囲を拡大し、子ども医療費を中学校卒業まで完全無料化としました。

### 高齢者見守りステッカーの配布(22万円)

認知症などによる高齢者の徘徊対策として、スムーズな身元確認が行えるよう高齢者見守りステッカーを配布しました。

### 子育てコンシェルジュの配置(443万円)

妊娠期から子育て期にわたる不安や悩みなど、総合的な相談支援をワンストップで行うため、子育てコンシェルジュを配置しました。



子育てコンシェルジュを平成29年5月にオープン

## 郷土に誇りと愛着が持てる、魅力あるまち

### 教育相談支援の充実(250万円)

不登校児童生徒の減少を図るため、教育相談員による学校への巡回や家庭訪問を行いました。

### 小中学校の施設整備(3億7386万円)

老朽化した小中学校体育館の吊天井の改修をはじめ、電気設備の更新や防水工事などを行いました。

### 新学校給食センターの建設(4706万円)

平成31年9月の供用開始を目指して、新学校給食センターの設計等を行いました。



新学校給食センターのイメージ図

## 自らの力で歩み続ける、活力のあるまち

### 企業誘致の推進(1094万円)

企業誘致に向けた土地利用構想の検討や産業立地PR活動を行いました。

### 新庁舎整備の推進(1億0151万円)

新庁舎及び新庁舎周辺施設の一体的な整備に向け、市民の皆様の意見を取り入れながら基本設計や用地測量、地盤調査等を行いました。

# 平成29年度決算に基づく 市の財政運営健全度を見てみよう

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」では、地方公共団体の財政状況を統一的な指標で公表することが定められています。

市では、すべての一般会計・特別会計・公営企業会計において、国が定める基準(早期健全化基準及び経営健全化基準)を下回り、健全な水準が確保されています。

## 健全化判断比率の状況

財政指標		平成29年度	平成28年度	増減	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	実質赤字比率	(赤字なし)	(赤字なし)	-	12.61%	20.00%
	連結実質赤字比率	(赤字なし)	(赤字なし)	-	17.61%	30.00%
	実質公債費比率	7.1%	6.5%	+0.6	25.00%	35.00%
	将来負担比率	4.5%	7.3%	△2.8	350.00%	

### ○実質赤字比率

地方公共団体の最も主要な会計である「一般会計」等に生じている赤字の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

### ○連結実質赤字比率

公立病院や下水道など公営企業を含む「地方公共団体の全会計」に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。

### ○実質公債費比率

地方公共団体の借入金(地方債)の返済額(公債費)の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

### ○将来負担比率

地方公共団体の借入金(地方債)など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

## 資金不足比率の状況

財政指標	平成29年度	平成28年度	増減	経営健全化基準
水道事業会計	(不足額なし)	(不足額なし)	-	20.00%
病院事業会計				
簡易水道事業特別会計				
公共下水道事業特別会計				

### ○資金不足比率

公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを表したものです。

引き続き、行財政改革を進め、健全な財政運営に努めてまいります。

平成29年度決算成果を詳しく知りたい方は、「平成29年度主要施策成果報告書(PDF版)」をご覧ください。

[http://www.city.ama.aichi.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/002/659/syuyouseika29.pdf](http://www.city.ama.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/002/659/syuyouseika29.pdf)

問合せ 財政課 ☎444・1714

